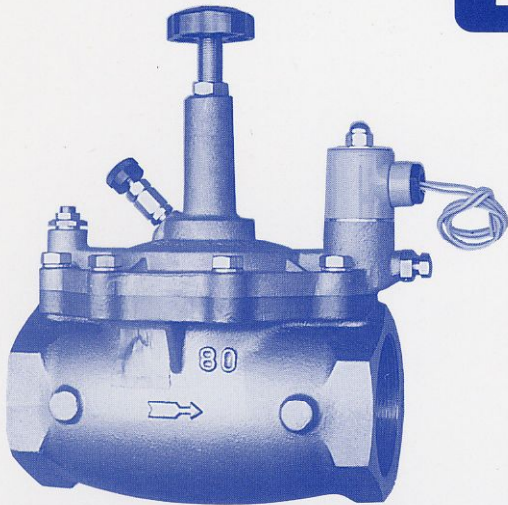
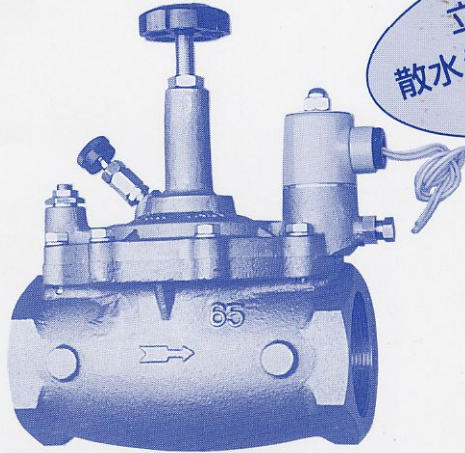


三光式散水システム専用部品

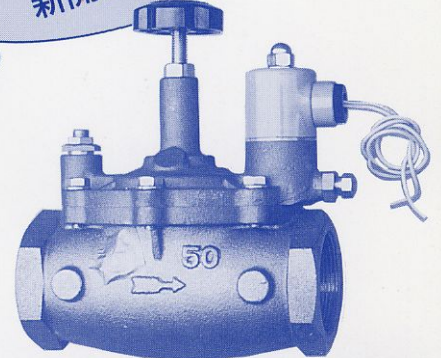
散水専用 電磁弁 SV-4型



取付口径(80A・3吋)



取付口径(65A・1 1/2吋)



取付口径(50A・2吋)

立上り管固定式
散水システム専用電磁弁
新開発登場!!

仕様

型式	パイロット式・SV-4型
材質	本体・要部/BC ダイヤフラムディスク/NBR
端接	続: JIS PTネジ
適用圧力	0.5~10kgf/cm ²
流体温度	5~50℃
動作	通電時弁開
定格電圧	AC24V(DC24V・AC100V可) 50/60Hz共用・0.5A

コイルの絶縁種別: B種相当(モールドコイル、防滴型)
 適用流体: 清水、工業用水、農業用水
 弁前後の最小差圧: 0.5kgf/cm²
 本体耐圧試験: 水圧にて20kgf/cm²
 許容漏洩量: 0
 周囲温度: 5~50℃
 保護構造: 防塵・防滴

操作部品名称



なぜ散水用電磁弁が必要か?

従来使用されている電磁弁は、適用流体が水・蒸気・油等の汎用型で、本来、工業用として製造されながら、散水用にも流用されているのが実情です。これはメーカーの販路拡張と、製造機種を少なくするのに非常に有利になるからです。

しかし工業用と散水用とは、電磁弁の構造上の問題も、使用に際しての条件も大きく異なります。例えば、流体の水質においては、工業用では清水(水道水)又は工業用水に限られ、ほとんど一定しています。一方、散水用では使用者によりまちまちで、井戸水等も多く、水質も場所により異なり、鉄分や土砂等を含んでいる場合があります。

また貯水槽にしても、工業用はタンク(含むFRP製・ステンレス製)を使用し、設置場所も室内が多く、周囲はコンクリートで固められて整備されています。これに反して散水用は、屋外の開放型コンクリート水槽が多く、管理も自然放置になりがちです。

電磁弁の取付位置も、工業用は装置の一部として厳密に決定されますが、散水用では、便利な位置に適当に取付けられるケースが多く、ウォーターハンマー等の種々の問題の原因になっています。

さらに製造上や材料においても、例えば工業用では、電圧はAC100Vや三相200Vを使用しますが、散水用では安全性等のためAC24Vがほとんどですから、当然コイル等の電気部品も違わなくてはなりません。特にダイヤフラム式の場合、材料や内蔵される部品の構造上の問題が、かなり故障や耐久力に関係します。

以上簡単に電磁弁について記しましたが、要は散水システムに使用する電磁弁は用途によって、その分野に適する専用型を造らなければ、似たような使い方であっても多くの故障がでるといえます。

新開発/立上り管固定式散水システム用電磁弁

この度、当社は30年に亘る散水システムの経験と知識を基に、永年にわたり各分野に種々の電磁弁を提供してきた実績ある電磁弁製造メーカーと提携して、特殊な改良を施した独自の散水専用電磁弁を開発しました。この『立上り管固定式散水システム専用電磁弁』は、故障がなく、耐久力・信頼性共抜群の新製品です。ぜひ散水用には、弊社製品に付いている社名プレートをご確認の上、三光式専用電磁弁をご指定ください。

ドイツ・ペロット社製/散水システム専用型
自動排水弁(真鍮製)
 取付口径25mm(排水口、15Aオスネジ付)
(25型)
 ペロット社の『自動排水弁』は、立上り管固定式散水システム用として開発された製品です。冬の凍結による破損事故と、散水終了時の水のポタ落ち防止弁として欠かせない専用部品です。

ドイツ・ペロット社 日本総代理店



三光産業株式会社